

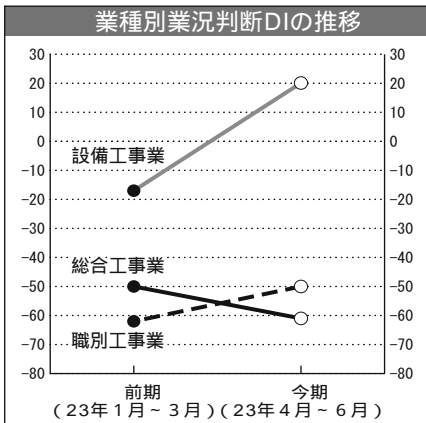
景況

今期の業況判断DI値は-41と前期の予想DI値を4ポイント、実績DI値に比べると3ポイント改善する結果となりました。売上、収益はともに改善、特に売上は大きく改善しましたが、資金繰りは後退しました。設備投資については、前期に比べ9ポイント増加、車両を中心に31%の先が実施しました。

来期の予想業況判断DI値は-50と今期の業況判断DI値から9ポイント悪化すると予想しています。売上、収益は悪化すると予想していますが、資金繰りについては改善すると予想しています。設備投資については、今期に比べ10ポイント減少し、車両を中心に21%の先が実施を予定しています。

調査員のコメント

- 仮設住宅の大量受注があり、売上は増加しているが人手が足りない。(管工事業)
- 震災後、原材料が被災地優先となり、内地での確保は遅延、不足が生じている。加えて価格も上昇しており、資金繰りは厳しい。(土木建築業)



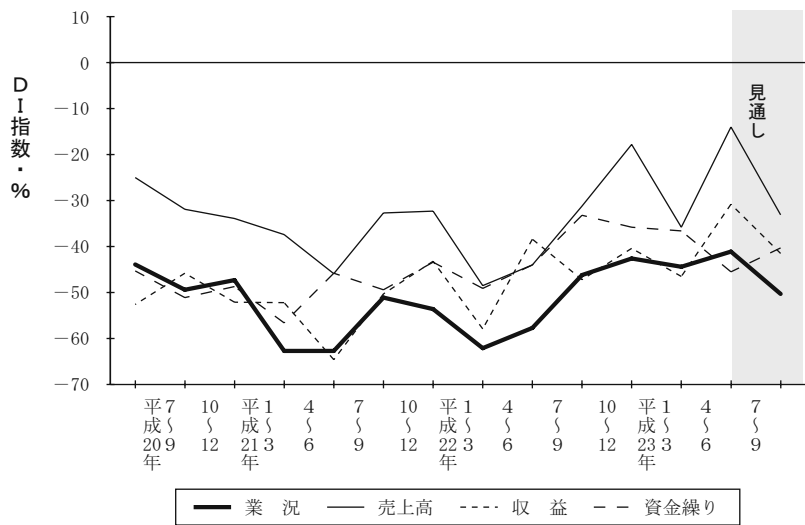
経営上の問題点		
1位	売上の停滞・減少	59%
2位	同業者間の競争の激化	48%
3位	人手不足	11%

当面の重点経営施策		
1位	経費を節減する(1)	66%
2位	販路を広げる(2)	52%
3位	情報力を強化する(3)	38%

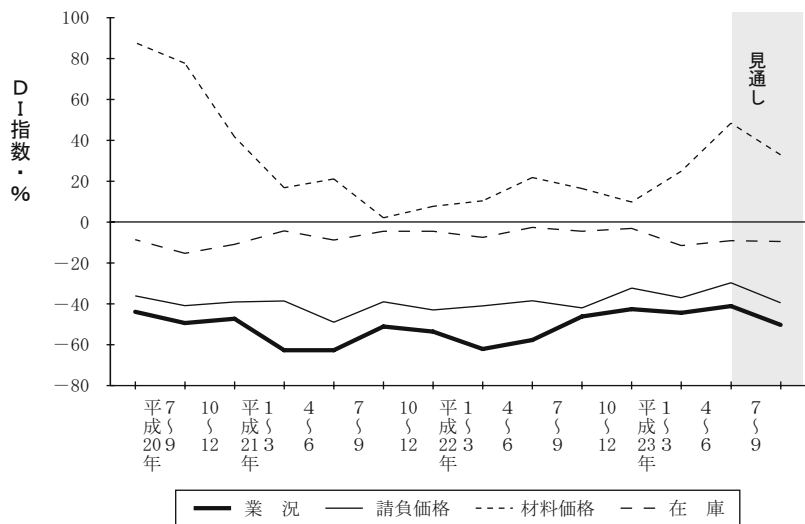
*()は前回順位

* 前期比：DI・季節調整済

景況の推移



主な指標の動き



残業、人手、設備状況

